



三つ子の魂百まで

感受性の鋭い子ども時代の柔らかな心（深層心理）に何を染み込ませるか

私は、1974（昭和49）年、「公益財団法人社会教育協会日野社会教育センター」に就職、青少年の集団活動や、野外活動・自然学校の企画、運営に携わることになりました。当初は右も左もわからず、上司や先輩の指導を受け、ときには叱られながら45年間、社会教育の活動に取り組んできました。そのときに一緒に活動した子どもたちはすでに50歳前後になっていますが、いまでも年に数回、語り合う会を行っています。多いときには15名を超える仲間が集まります。振り返ってみますと、実に45年間彼らの追跡調査をしてきたようにも感じます。共通して言えることには、どの子ども、

- ・自分で判断して結論を出し、行動する力を身につけている。
- ・自分らしい生き方を模索しつつ生きいきと生きる方法を身に着けている。
- ・生い立ちや学校、年齢の壁を越えてお互いの生き方を認め合って姉弟のように仲がよい。

一口で言えば、一人ひとりが社会人として自立しているのです。そして、いつも少年時代の野外活動の思い出話が飛び出します。なかでも、

- ・チョウチョを追いかけてまわし、道なき道を走ったこと。
- ・下着が緑色になるまで遊びに夢中になった草滑り。

- ・着のみ着のまま川に飛び込み、帰りは濡れたままの服装で電車に乗って帰ったこと。
- ・南アルプスからの日の出を見ようと、朝まだ暗いうちから起きだしたこと。
- ・3泊4日、雨ばかりで、ずぶぬれのキャンプ活動。
- ・眠さと戦いながら一晩中歩きとおしたナイトハイク。

特にスリル満点で、ヒヤリとした遊びが感受性の鋭い子ども時代の心に深くしみ込んでいるようです。まさに「三つ子の魂百まで」とは、このようなことを言うのではないのでしょうか。「子どもたちが自然のなかで思い切り遊び、人間が持っている五感を鍛え、その先にある第六感（感性・直観力）を育んでほしい」という思いで、ボランティアリーダーとともに、積極的に取り組んできました。

今の時代だからこそ、子どもたちに仲間と一緒に自然の中で思い切り遊んでほしいです。そして大人はその様子を笑顔で見守りたいものです。



公益財団法人社会教育協会理事
NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟監事
中能 孝則

保全活動技能取得研修

刈払い機取扱者の講習を行いました。

【と き】令和3年9月12日(日)

【と ころ】トラスト8号地・サンアメニティ北本キャンプフィールド

【受講者】14人

参加者からは、刈払い機の機能と日々のメンテナンスの大切さを学びました、とのご意見を多数いただきました。



イベントのお知らせ

会員の集い

11月13日(土)

場所 埼玉共済会館

(さいたま市浦和区岸町7-5-14
JR浦和駅西口から徒歩10分)

協会員 無料

申込 締切11/5(金)(消印有効)までに、Webまたは
はがきで (①氏名②住所③電話番号を明記) 協会へ。

- ▶ 9:30-10:30
講話「埼玉から見るエコロジカル・フットプリント」
副理事長 牧野 彰吾
(NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団代表理事)
- ▶ 10:40-11:40
講話「トラスト保全地のナラ枯れ被害・防除の現状」
理事 小峯 昇
(トラスト7号地ボランティアスタッフ代表)
- ▶ 13:20-14:50
講話「(仮題) 持続可能な社会での森の役割」
理事長 太田 猛彦 (東京大学名誉教授)

交流会は新型コロナウイルス感染症予防の為、中止します。



竹の伐採体験

12月4日(土) 9時~12時
(雨天中止)

無料

集合場所 見沼田圃周辺斜面林(トラスト1号地)
あずまや

10人申込順 締切12/1(水)

▶ 伐採した竹は持ち帰りできます。



トラスト7号地と 綾瀬川周辺の冬鳥を探そう

12月5日(日) 9時~12時
(雨天中止)

集合場所 下記の2つから選択

- ① JR宇都宮線「蓮田駅」東口 8時30分
 - ② 小川原家屋敷林(トラスト7号地) 9時
- ①は徒歩で現地まで移動します。(徒歩約20~25分)

協会員 無料 20人申込順
一般 300円 締切12/1(水)

▶ カモ類をはじめ、大陸から日本に渡ってきた冬鳥が見られます。



大人のクラフト工作教室

クリスマスリース 11月17日(水) 403室
9時30分~11時30分

竹細工 11月24日(水) 104室
9時30分~12時

場所 埼玉教育会館

(さいたま市浦和区高砂 3-12-24)

協会員 無料

一般 クリスマスリース800円
竹細工500円

各教室10人申込順 締切11/10(水)



対象 15歳以上



ミニ門松作り

12月19日(日) 10時~12時

集合場所 サンアメニティ北本キャンプフィールド
(北本市野外活動センター)

協会員 無料 一般 800円

20人申込順 締切12/15(水)

▶ ご自宅で飾れるミニ門松を作ります。
(お1人様1基)



【対象】中学生以上。小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】 <共通> 筆記用具、水筒、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴で御参加ください。

<自然・野鳥観察会> 双眼鏡、図鑑などの観察用具、雨具、帽子

<保全活動> 軍手、作業靴、帽子 <クラフト工作> 軍手

【申込】トラスト協会事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら→



各イベント等の詳しい説明は、
ホームページをご覧ください。



森のいきものたち



アオサギ



カケス



イカル

夜間撮影は自動的にモノクロになります



アライグマ



トラツグミ

トラスト地にセットしたセンサーカメラにはいろいろな生きものが登場しています。さいたま市緑区の1号地ではオオタカ・水浴び中のフクロウ・アライグマが、入間市加治丘陵の6号地では、イノシシ・ウサギ・カモシカ・キツネ・シカ・テン・ハクビシン・アライグマ等が自然の姿を見せてくれました。

7号地でも水場にセンサーカメラをセットしたところ、予想以上に多様な生きものが水場を利用してることが分かりました。動物ではタヌキ・キツネ・アライグマ・ネコが写っていました。特に夜間はネコとアライグマが常連客でした。野鳥では、これまで記録されていなかったアオサギ・イカル・キセキレイ・トラツグミが写っていました。大きなアオサギが降りていたことは驚きです。

撮影された野鳥(五十音順)アオサギ・アオジ・イカル・オナガ・カケス・キシバト・キセキレイ・シジュウカラ・シメ・ジョウビタキ・シロハラ・ツグミ・トラツグミ・ハシボソガラス・ハシボソガラス・ヒヨドリ・ホオジロ・マヒワ・モズ
トラスト7号地の小さな水場は、野鳥にとつて貴重なオアシスだったのです。

理事・7号地ボランティアスタッフ代表 小峯 昇

トラスト 昆虫 全監 7

チョウ目 タテハチョウ科

アサギマダラ (Parantica sita)

薄いブルーを基調とした美しい大型のチョウで、1000km以上の渡りをするので最近はずっかり有名になりましたが、私が子どもの頃は遠い高原にいて、まれに里に飛んでくる謎の憧れのチョウでした。

捕獲して翅に標識番号を書いて放つ市民によるマーキング調査が普及してその行動が分かってきました。春に北上し、夏の暑い時期は高原で避暑をして、秋には里に下りてやがて南下していきます。アメリカのオオカバマダラは大群でメキシコまで2000km以上の旅をしています。

埼玉の里山では10月に秋の七草・フジバカマでよく見られます。マダラチョウの仲間は体内に毒を持つため鳥に食べられないのですが、フジバカマ類の蜜を吸うことによって毒を溜め込むとされています。庭などにフジバカマを植えれば2度おいしいですね。

(自然観察指導員・大石 章)



フジバカマを訪花したアサギマダラ



食草はキョウチクトウ科のイケマなど



大石 章
4号地代表。小学校の担任の先生からチョウを教えてもらって昆虫好きに。自然観察指導員として自然観察会のガイドを務める。

第22回 さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール作品募集

第22回 作品募集
さいたま
緑のトラスト
写真・動画
コンクール
8/2-12/3

埼玉県には、武蔵野の面影を残す雑木林や見沼田圃のような首都圏にあって潤いとゆとりのある空間が数多く残っています。県では、こうした優れた自然や貴重な歴史的環境を末永く保全し、次世代に残していくため、さいたま緑のトラスト運動を推進しています。

この運動をより多くの県民の皆さまに知っていただき、緑への理解と関心を深めるため、「第22回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール」を開催します。

写真は、Instagramからでも「#緑のトラストフォト2021」を付けて投稿すれば応募していただけます！

皆さまが次世代に残したいと思う緑豊かな自然を写真や動画を通じてシェアしませんか？

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/22trust.html>



KDDI北関東総支社様への感謝状贈呈

日時：令和3年9月1日（月） 場所：トラスト協会事務局

今年も、寄付をいただき、ありがとうございます。

この寄付も6回（年）目になります。

コロナ禍にあって、トラスト保全地を訪れる方が増えています。いただいたご厚意は、自然環境を守る保全（整備）活動に使わせていただきます。

また、毎年、社員の皆様がトラスト13号地（無線山・KDDIの森）で保全活動を行って頂き、感謝しております。

公益財団法人さいたま緑のトラスト協会
常務理事 梶間幹一郎 談



KDDI北関東総支社
支社長 土橋 様（右）
当協会 梶間常務理事（左）



緑のトラスト運動への支援（キモチと。）

不要になった書籍や、CD、DVD、ゲーム等でさいたま緑のトラスト運動を支援できる新たな取り組みを始めました。これはブックオフコーポレーション株式会社の支援制度「キモチと。」を活用するものです。

ご支援いただける皆さまから寄附された書籍やCD等を同社が査定し、買取価格に10%加算した金額を「さいたま緑のトラスト基金」に寄附していただけます。

お申し込みは「キモチと。」専用ページより。お申し込み後、佐川急便が送料無料で集荷に伺います。

※「キモチと。」は税法上の寄附金控除の対象にはなりません。



↑お申し込みはこちら



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者
（10万円以上、令和3年6月から令和3年8月）

大熊 泰雄 株式会社 スーパーバリュー 他匿名希望2個人
株式会社 伊藤園 千代 貞雄
山本食品工業株式会社 株式会社 植清園 [敬称略]



さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者
（5万円以上、令和3年6月から令和3年8月）

西山建設株式会社 KDDI株式会社 [敬称略]



新しく会員になられた方々
（令和3年6月から令和3年8月）

【個人】 19人（うち永年1人） [敬称略]
【家族】 2家族（6人） [敬称略]
【法人】 税理士法人 山田会計 [敬称略]

<会員数（8月末現在）> 1,442人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
電話 ▶ 048(824)3661 ファックス ▶ 048(832)0292
ホームページ ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>
メール ▶ main@saitama-greenerytrust.com
当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。
詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
	永年（一括納入）	1人	15,000円
家族		1家族	3,000円
法人		1口	10,000円



トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。